



不思議な伝説を生み出す、鵜の池の神秘的な光景

## 鵜の池にまつわる2つの伝説

(「日野町誌」より)

### お藤の伝説

昔、榎村に卯野左内という浪人が住んでいた。その娘のお藤が友達と池のほとりでワラビ狩りをしていたところ、誤ってこの池に落ちて死んでしまった。賢い器量よしだったお藤の死を嘆いて村中の者が泣いたが、その時左内の妻が言うには、自分は前の晩不思議な夢を見たという。夢の中で、お藤は白い顔をして「自分は今下界に生まれてきているけれども、元来天上の神としていなくてはならないものだ」と言って姿を消したのだという。

この奇妙な話は、お藤が池に落ちたとき、真っ青な池の上に雪のような顔をあげて、岸辺の友達に、にっこり笑って沈んでいった最期の姿と似通うものがあるので、とうとうお藤を神様として祀るようになったのだという。

### 大蛇の伝説

昔、黒坂の長者の家に娘がいた。

いつの頃からかその娘のもとに一人の美男子が訪れるようになったが、玄関に脱いだ草履はいつも濡れていた。

村人たちは、この男がいったいどこから来るのだろうかと思いを抱き、あるとき濡れた草履に糸をつけてあとを追っていったところ、なんと鵜の池から来ていることが分かった。

ところがそれ以来、この男は全く姿を見せなくなり、長者の一人娘も、やがて池に身を投げて死んでしまった。

この男は鵜の池に棲む大蛇であったといわれ、長者の家ではたたりを恐れてそれ以来家紋を変えたという。

●広報ひの9月号 NO. 620

●発行 日野町役場 〒689-4503 鳥取県日野郡日野町根雨101 TEL (0859) 72-0331 FAX72-1484

●編集 総務企画課 ●印刷 株式会社高下印刷

●ホームページ <http://www.town.hino.tottori.jp/> ●電子メール [info@town.hino.tottori.jp](mailto:info@town.hino.tottori.jp)